

【FP版】集客記事の書き方講座3

構成法と記事タイプ

行列のできるFP事務所プロデューサー 林健太郎

書くときの基本原則①「分かりやすさ」

- ▶ あなたはどちらが、分かりやすいと思いますか？
 - ▶ （文例1）NISAとは少額投資非課税制度のことで、平成26年から令和5年の間、投資期間が設けられており、5年毎にロールオーバーすることで最長10年間の非課税期間を享受することができます。
 - ▶ （文例2）NISAは2014年から始まった新しい非課税制度です。年間120万円まで投資することができます、最長5年間、投資で得た利益に税金がかかりません。2023年までNISA口座で新規の投資ができます。
- ▶ 文例1が分かりにくい理由
 - ▶ 文例1の「少額投資非課税制度」「ロールオーバー」という専門用語が初心者には理解できません。
 - ▶ 文例1は和暦、2は西暦ですが、平成から令和にまたがる期間ですので、西暦のほうが一般的に分かりやすいでしょう。
 - ▶ 文例2はロールオーバーについて説明していませんが、既にロールオーバーできる期間を過ぎていますので、これからNISAを始める初心者にはロールオーバーの説明は不要です。

書くときの基本原則②「オリジナリティ」

- ▶ あなたの体験談、経験談、あるいは主張を盛り込む
 - ▶ 読者があなたの記事を読む理由は、一体为什么呢？
 - ▶ 誰よりも分かりやすい記事、読んでいてすごく面白い、などもオリジナリティになりうる
- ▶ 体験談文例
 - ▶ NISAは2014年から始まった新しい非課税制度です。年間120万円まで投資することができます、最長5年間、投資で得た利益に税金がかかりません。2023年までNISA口座で新規の投資ができます。

実際私も、2014年にNISA口座を開設して100万円を投資してみたんです。すると、2019年には12万円の利益となりましたが、税金がかからずに全額利益受け取ることができたんです！これは嬉しかったですね。

記事構成法

- ▶ SDS法「要約(Summary)→本文(Details)→要約(Summary)」
 - ▶ 冒頭の要約
 - ▶ 本文
 - ▶ 最後のまとめ
- ▶ PREP法「ポイント(Point)→理由(Reason)→具体例(Example)→まとめ(Point)」
 - ▶ SDS法より説得力ある記事を書きたい場合に使える

要約

本文

まとめ

記事の具体的な内容

- ▶ データ引用・コメント記事
 - ▶ PREP法との相性がいい
 - ▶ 専門家、先生という印象を与えやすい
- ▶ レビュー記事
 - ▶ トレンドのアプリなどのレビューで、アクセス数を稼ぐことも可能
- ▶ ノウハウ・ハウツー記事
 - ▶ 定番記事で、競合も多い
 - ▶ 出し惜しみせず、ガンガン出してOK
- ▶ Q&A記事（読者の質問への回答）
 - ▶ 読者とのコミュニケーション
 - ▶ 有料相談メインのFPは...
 - ▶ 無料での回答は公開回答に限る
 - ▶ いつ回答できるかは分からない。回答しない場合もある

レビュー記事の成功例

- ▶ マネーフォワードのレビュー記事
 - ▶ <https://wp.me/p4E3hg-9R>
- ▶ 1記事だけで60万PV以上

記事の構成法 と内容まとめ

- ▶ 記事の内容原則は①分かりやすく、②体験談などを交えてオリジナリティを出す
- ▶ 記事の構成はSDS法やPREP法を基本に
- ▶ 記事タイプは「データ引用コメント記事」「レビュー記事」「ノウハウ/ハウツー記事」「Q&A記事」など

行列のできる
FP事務所



期間限定で**無料**プレゼント中！
詳しくはこちら



<https://startup-fp.com/presentpdf>